

平成24年度 施政方針

平成24年第1回南島原市議会定例会が、2月22日から3月19日まで行われました。会の冒頭で、藤原市長が平成24年度の施政方針を述べました。



度重なる本市職員の不祥事により、市民の皆さまに多大なご迷惑とご心配をお掛けしたと、市政への信頼を著しく損なったことに対し、あらためておわびを申し上げます。

市民の立場に立った 職務遂行のために

現在、信頼回復に向けて、組織一丸となって、職員研修の実施など、さまざまな取り組みを行っているところです。今後も綱紀粛正とコンプライアンス（法令順守）を徹底し、再発防止と信頼回復に全力を尽くしてまいります。

市を取り巻く状況

我が国の経済は、東日本大震災の影響や、欧州の政府債務危機などにより、依然として厳しい状況にあります。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害をもたらした。国民生活と日本の経済に大きな打撃を与えました。今回の震災は、復興のみならず、防災対策の見直し

や、エネルギー政策など、新たに多くの課題が提起される事態となりました。



国の平成24年度予算では、震災復興に対する財源確保が求められるとともに、財政健全化に向けた取り組みや、税制改革を含めた社会保障と税の一体改革についても、国会の場で議論が進められています。

また、長崎県の当初予算では、県民所得の向上、雇用確保につながる事業の積極的な取り組みが盛り込まれており、市としてもいっその連携強化を図る必要があると考えています。

市の今とこれから

南島原市は現在、合併後の

行財政改革の効果により、地方債残高、基金、各種の財政指標など、一定の改善傾向は見られますが、市の財政構造の抜本的な改善が図られたとは言えない状況です。社会保障関係経費の増高による歳出経費への圧迫など、引き続き厳しい財政状況であることを踏まえ、将来に負担を先送りすることのないよう、歳入・歳出全般にわたる財政健全化へ向けた取り組みを継続していかねばなりません。

元気が基本のまちづくり

こうした観点から、皆さまのご支援とご協力をいただき、平成23年度においてはさまざまな事業を進展させることができました。平成24年度は、これらをさらに進め、「人が元氣」、「産業が元氣」、「まちが元氣」、そして「市役所が元氣」なまちづくりの実現に向け、市役所一丸となって推進してまいります。皆さまのご協力をお願いします。

1 人が元氣になるまちづくり

雇用の拡大

- ・企業誘致活動の拡大
- ・企業誘致のための立地調査
- ・企業誘致マニキュアルとVTRの制作



健康づくりの推進

- ・健康づくり「ひまわりプランⅡ」の推進
- ・各種健診の受診率の向上
- ・「布津福祉センター湯葉里」の整備の調査・検討
- ※平成23年策定、「こころと体、口腔の健康づくり、食育推進計画」の愛称



医療体制の充実

- ・一次救急・二次救急医療体制の充実
- ・小児医療体制の充実（※）
- ※詳細は26ページ。今年4月から始まった取り組みで、日曜日および土曜日夜も診療を行う。県や関係機関と連携し、医療体制の充実に努めている。

高齢者・障害者福祉の充実

- ・福祉タクシー利用券交付制度（※1）の充実
- ・高齢者福祉の充実（※2）と高齢者の生きがいづくり



児童福祉子育て支援の充実

- ・保育料の軽減（※1）
- ・子育て支援事業の推進



学校教育の充実と施設整備

- ・子ども支援員、特別支援教育助手、心の教室相談員の増員（※）
- ・学校教育施設および関連施設などの整備
- ・小学校統廃合、跡地利活用の検討
- ・学校給食センターの拠点整備



生涯学習の推進

- ・生涯学習のまちづくり
- ・公共図書館・学校図書館の環境整備（※）
- ※公共図書館と学校図書館の連携、読書教育の推進や図書ボランティアの育成を行うほか、図書館未設置地区の利用環境を整備・充実させる。